

## 1. 事故概要

- ①発生日時： 2022年8月10日（水） 天候：晴れ 午後13：30分頃
- ②発生場所： 名神高速道路 八日市IC 入口取付道
- ③概要： 草刈作業中、腹部と耳たぶを蜂に刺された為、病院に搬送したものを。
- ④被災者： ■■■■（ハチ毒抗体検査済（R03.7）クラス 0）
- ⑤時系列

8月10日（水） 13：30 草刈作業中、腹部と耳たぶを蜂に刺された。

13：35 ポイズンリムーバーにより処置。

13：45 念のため現場から■■■■医療センターへ向け出発。

14：00 ■■■■医療センター 緊急外来受診（本人は症状なし）  
本人に症状が無い為、診察の必要なしとの判断

14：20 現場に帰着後、様子を見て作業を継続

## ⑥再発防止策

- ①草刈作業を行う際、蜂がいる可能性があるため、十分目視確認を実施する。
- ②作業箇所が蜂が飛んでいるのを発見した場合、その現場での作業を中止し、別の作業場所へと移動する。
- ③草刈作業前に、ブローアの風を利用し、草の中で目視が出来ない蜂を発見する。



### 3. 蜂対策について【過去の事象に基づき継続的に対応】

#### (1) 事前対策

- ①蜂毒アレルギー検査の実施と結果の自己確認、及びヘルメットへの「抗体クラス」表示  
作業員本人が検査結果を自覚しておくことと、職長など周囲の人もわかるように！
- ②検査結果「抗体クラス3」以上の作業員は、極力草刈り作業より外す、又は、外せない場合は医師の診断を受けたうえで自己注射（エピペン）を携帯する。
- ③一度蜂に刺されると抗体検査の結果が変化する可能性も考慮し再度抗体検査を実施する。

#### (2) 草刈等作業前の対策

- ①応急対策備品の携行（ポイズンリムーバー、殺虫剤、エピペン等）
- ②作業箇所に蜂などの害虫が発生していないかを事前調査で確認。  
現場にて蜂が飛んでいるのを発見した場合、その現場での作業を中止する。  
現場にて蜂の巣が確認された場合、専門業者に駆除を依頼する。  
作業前にブローアーを使用し、草の中に潜む蜂を草の外へと出す。

#### (3) 作業実施中の対策

- ①蜂刺されと判明したらポイズンリムーバーにより応急処置を施し、病院で診察を受ける。
- ②症状、救急車の到着時間等によっては、自己注射（エピペン）の実施も行う。